



気仙沼・南三陸 稲作情報 第3号

令和7年6月23日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

- 生育はおおむね順調。
- 必要な茎数を確保したら、中干しを実施しましょう。
- 水田をよく観察し、いもち病が発生したら、すぐに防除しましょう。

1 気象の概況

5月は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。特に、5月下旬後半には大雨により、降水量が極端に多くなりました。その後は、平均気温及び日照時間が平年並み～やや上回って推移しました。

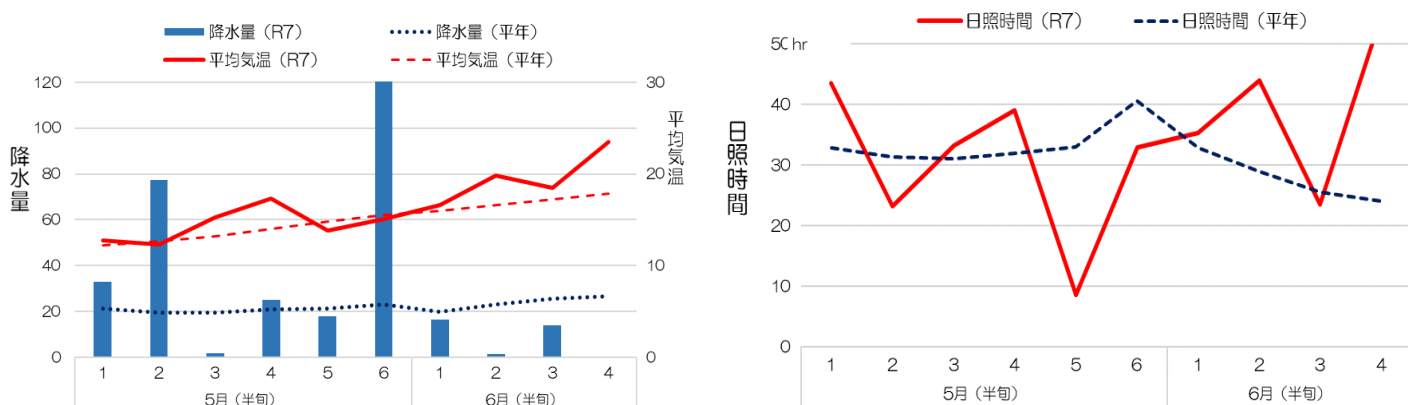


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月20日）

2 水稻生育調査ほの生育概況（6月20日調査）

茎数は604本/m²、葉色は46.0と、生育の目安（目標）をおおむね確保しており、生育は順調です。また、中干し開始の時期に達しています。



生育の状況

表1 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎数 (本/株)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R7 前年比・差	5/14 -6日	37.4 115%	604.1 128%	31.3 124%	46.0 113%

※生育調査ほの見直しにより、令和6年度から管内の調査ほは1か所となり、ほ場（担当農家）を変更しています。このため、前年比・差はありません。

3 今後の栽培管理

(1) 水管理・中干し

- 中干しは、根の活力向上、無効分げつの発生抑制、作土層の硬化促進、異常還元による赤枯症状抑制などの効果があります。表2の目標茎数を確保したら、早めの実施しましょう。
- 中干しは、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。
- 分げつの少ないほ場では、低温時には水深5～6cmの深水、それ以外は水深2～3cmの浅水として、水温、地温の上昇を図り、分げつを確保してください。

表2 品種別目標茎数

品 種	目標有効茎数	植付株数	目標茎数
ひとめぼれ	410～460 本/m ²	50 株/坪	27～30 本/株
		60 株/坪	23～25 本/株
ササニシキ	480～510 本/m ²	50 株/坪	32～34 本/株
		60 株/坪	26～28 本/株

(2) 病害虫防除

①いもち病

- 宮城県病害虫防除所が6月18日に発行した発生予報第4号によると、葉いもちの発生量は「平年並」と予報されています。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を速やかに散布しましょう。
- 予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- 葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が基本であり、病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と防除に努めましょう。

※葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム））は、

県病害虫防除所ホームページで確認できます。

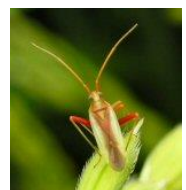
（URL:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>）



宮城県病害虫
防除所
BLASTAM

②斑点米カメムシ類

- 生息地である水田周辺のイネ科雑草は、水稻の出穂前15～10日（7月中旬）までに草刈りを終わらせ、雑草が穂をつけないようにしましょう。
- 水田内のヒエやホタルイ類はカメムシ類を呼び寄せるので、除草を徹底しましょう。



県内での最重要種
「アカスジカスミカメ」

4 「金のいぶき」の栽培管理

(1) 調査ほでの生育状況

- 茎数は200本/m²と平年の約4割程度となっていますが、平年より田植えが遅かったこと、及び栽植密度を少なくしたためと考えられます。

表3 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎数 (本/株)	葉色値 (GM)
金のいぶき 気仙沼市本吉町	R7	5/30	16.2	31.7	200.9	12.4	39.2
	前年比・差	-2日	85%	118%	73%	86%	103%
	平年比・差	+11日	84%	99%	46%	55%	97%

※令和3年から設置のため、平年値は令和3～6年度の4か年平均の値。

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

(2) 今後の栽培管理

- 表4の目標茎数を確保したら、速やかに中干しを行いましょ。ただし、「金のいぶき」は根張りがあまり良くないので、強すぎる中干しは避け、土に亀裂が入る前に間断灌水に移行しましょ。
- 「金のいぶき」は、いもち病に弱い品種です。箱施用剤に加え水面施用剤（粒剤、パック剤）による防除を2回（6月中下旬と7月中下旬）実施しましょ。

表4 金のいぶき目標茎数

品 種	目標有効茎数	植付株数	目標茎数
金のいぶき	440～490 本/m ²	50 株/坪 60 株/坪	29～32 本/株 24～27 本/株

5 乾田直播栽培

(1) 調査ほでの生育状況

- 前年と比べ、草丈と茎数に生育の遅れが見られますが、4月から5月上旬の気温が前年より低く推移していたためだと考えられます。

表5 水稻生育調査結果（6月20日現在）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R7 前年比・差	3/27 +2日	67.7% 118%	28.9 93%	172 82%	38.7 123%

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

(2) 今後の栽培管理

- 分けつを促進するため、浅水管理としましょ。
- 病害虫の防除については、前述「3 今後の栽培管理」参照。

6 東北地方の1か月予報（令和7年6月19日 仙台管区气象台発表）

【予報のポイント】

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。また、太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並みか多いでしょう。

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

農業作業中の熱中症を予防しましょう。

予防のポイント

- 暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業
- 単独作業は避ける
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとりあう
- こまめな休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- 熱中症対策アイテムの活用
帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

(参考) 農林水産省熱中症対策

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

宮城県農薬危害防止運動実施中 (6/1~8/31)

- 農薬容器のラベルをよく読みましょう
 - 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
 - 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
 - 農薬の保管管理を徹底しましょう
- (参考) 農薬は正しく使いましょう (宮城県農政部みやぎ米推進課HP)

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/nouyaku.html>

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

農薬者のみなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

農作業中の熱中症

農作業中の熱中症による死亡者数(月別)

月	死亡者数
3月	2
4月	7
5月	9
6月	14
7月	111
8月	109
9月	6

過去10年の死に傷者数 259名

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7~8月に発生している一方で3~6月にも発生

予防のポイント

- 暑さを避ける**
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業
- こまめな休憩と水分補給**
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- 単独作業は避ける**
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う
- 熱中症対策アイテムの活用**
帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

誤飲を防ぐため、施錠された場所に保管する等 保管管理の徹底

確認しよう! 農薬ラベルによる使用基準の徹底確認

使用前に必ずラベルで作物名・使用方法・防護装備の確認をしましょう!

誤飲防止のため 移し替えは厳禁!

ラベルよく見て 周囲よく見て 使用前、

農薬散布は無風または風が弱い時

看板の設置等 周囲に配慮

土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理の徹底

住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮及び飛散防止対策の徹底

近隣住民への事前告知

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省 検索

令和7年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

宮城県・JAグループ宮城・宮城県農業商業協同組合・一般社団法人宮城県植物防疫協会・宮城県毒物協会の協賛

6月1日~8月31日

次回の稲作情報の発行は、令和7年7月2日を予定しています。